

# 令和4年度 神奈川県立相模田名高等学校 不祥事ゼロプログラム

相模田名高等学校は、事故・不祥事の発生をゼロにすることを目的として、次のとおり不祥事ゼロプログラムを定める。

## 1 実施責任者

相模田名高等学校不祥事ゼロプログラムの実施責任者は校長とし、不祥事防止会議がこれを補佐する。

## 2 目標および行動計画

令和3年度までの取組みや課題等の検証結果を踏まえ、以下のように定める。

### (1) 取組み課題

- ① 法令遵守意識の向上（公務外非行の防止、職員行動指針の周知・徹底を含む）
- ② わいせつ・セクハラ行為の防止
- ③ 体罰、不適切な指導の防止
- ④ 入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止
- ⑤ 個人情報等管理、情報セキュリティ対策（パスワードの設定・誤廃棄防止）
- ⑥ 交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守
- ⑦ 業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）
- ⑧ 会計事務等の適正執行
- ⑨ 業務量偏重による事故の防止とストレスの軽減

### (2) 行動計画指針

- ア 校内システムの問題については、システム等の検証や問題点の洗い出しを徹底し、事故・不祥事の未然防止に努める。(④ ⑤ ⑦ ⑧)
- イ 知識・モラル上の問題については継続的・計画的に研修会等を実施し職員の意識啓発を行う。(① ② ③ ⑥)
- ウ その他については、各グループや職員の意見、ヒヤリハット事例等から必要に応じて見直しや研修等を実施し事故防止を図る。(⑨)

### (3) 目標及び行動計画

#### ア 校内システム上の事故防止

- ④ **入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止**
  - 目標…入学者選抜、成績処理、進路関係書類等に係る事故を未然に防止する。
  - 担当部署…カリキュラム開発G、キャリアガイダンスG、入選プロジェクトチーム
  - 行動計画…テスト問題の作成及び成績処理、調査書の作成・発行、入学者選抜業務について、担当グループまたはプロジェクトチーム等で点検体制を確認し、必要な見直しを行うことで事故防止を目指す。特に成績処理は、成績処理・点検の手順の確実な遂行を全員で徹底する。
- ⑤ **個人情報等管理、情報セキュリティ対策（パスワードの設定・誤廃棄防止）**
  - 目標…個人情報の流出を未然に防止する。
  - 担当部署…カリキュラム開発G、広報・情報管理G、学校管理運営G、生徒指導G
  - 行動計画…啓発資料やチェックシートに基づいて職員の意識啓発を図り、日常的に点検を行い個人情報の流出・滅失の未然防止に努める。また、携帯電話・電子メール等の使用については「神奈川県個人情報保護条例」に基づき、個人情報の収集・登録・管理・破棄を徹底する。また、事故防止研修を行い、個人情報の保護と事故防止の意識の徹底を図る。
- ⑦ **業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）**
  - 目標…各種業務執行において、教職員の意識や業務の簡素化・効率化を図り、事故を未然に防止する。
  - 担当部署…各グループ、プロジェクトチーム等
  - 行動計画…職員啓発資料やチェックシートを活用して教職員の意識啓発に努めるとともに、複数の職員によるチェック体制づくりに取り組む。また、6月には職場内コミュニケーションの円滑化に関する研修を行い、情報共有や協力体制の確立に努める。
- ⑧ **会計事務等の適正執行**
  - 目標…公費、私費会計の適正な運用と、事故・不祥事の未然防止に努める。
  - 担当部署…副校長・教頭・事務長・私費担当者

- 行動計画…年度当初に全職員対象の研修を行うとともに、財務事務調査の結果を教職員に周知し、私費会計基準に則った事務処理への意識を高め、適正な執行を徹底する。

#### イ 知識・モラル上の事故・不祥事防止

##### ① 法令遵守意識の向上

- 目標…教育公務員としての自覚を持ち、信用失墜行為を未然に防止する。
- 行動計画…職員啓発資料等を活用し、教職員の意識啓発に努める。また、日頃から注意喚起を行い、事故・不祥事防止の徹底を図る。

##### ② わいせつ・セクハラ行為の防止

- 目標…教育公務員として、常に高い倫理観を持ち、公務内外において自分の行動を律し、セクハラ、わいせつ行為を未然に防止する。
- 行動計画…スクール・セクハラ防止について、職員啓発資料やチェックシートを活用して教職員の意識を高める。4月、6月、1月に職員研修を行い、また、日頃から適切な情報提供と注意喚起を行い、不祥事防止の徹底を図る。

##### ③ 体罰、不適切指導の防止

- 目標…体罰、不適切指導の発生を未然に防止する。
- 行動計画…日頃から注意喚起を行い、事故・不祥事防止の徹底を図る。4月、6月、1月に職員研修を行い、職員の人権意識を高めるとともに、些細な問題でも指摘しあえる職場環境づくりを進める。

##### ⑥ 交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守

- 目標…交通事故の発生、酒酔い・酒気帯び運転を未然に防止する。
- 行動計画…5月と12月に交通事故、酒酔い・酒気帯び運転防止のための職員研修を行い、事故・不祥事防止の徹底を図る。また、日頃から適切な情報提供と注意喚起を行う。

#### ウ その他

##### ⑨ 業務量偏重による事故の防止とストレスの軽減

- 目標…業務協力体制を確立し、業務量の偏りにより生じる事故を未然に防止する。
- 行動計画…各種業務執行に際して職員相互の協力体制を確立し、業務量の均分化を図る。また、日頃から業務の執行状況を把握して、業務偏重による事故の防止に努めるとともに、声かけを行い、職員のストレス軽減を図る。また、職場内の協力体制とストレスのない職場環境の構築を図る。

### 3 検証

#### (1) 第1回検証

2に規定する行動計画について、令和4年10月末までに実施状況を確認し、各目標達成に向けて行動計画を修正する必要がある場合は、必要な修正を行う。

#### (2) 第2回検証

2に規定する行動計画について、令和5年1月初旬までに実施状況を確認し、各目標達成に向けて行動計画を修正する必要がある場合は、必要な修正を行う。

#### (3) 最終検証

2に規定する行動計画について、令和5年3月初旬までに実施状況を確認するとともに、各目標達成についての自己評価を行う。その結果、新たな目標設定が必要な場合は、それを含め、令和4年度における相模田名高等学校不祥事ゼロプログラムを策定する。

### 4 実施結果

3(3)の検証を踏まえ「実施結果」を取りまとめる。

### 5 事務局

プログラムの策定及び具体的手続きについては、不祥事防止会議がこれを行う。